

名言・格言

「霧の中を歩けば覚えざるに衣しめり、

よき人に近づけば覚えざるによき人になるなり」

道元

霧の中を歩いていると、知らないうちに着ている物がぬれていますよね。これと同じように、よき人に近づくと、自分でも気付かないうちによき人になるというのです。

もちろん他人を外見で、よき人かそうでない人か判断する事は出来ません。よき人かそうでないかを判断するには、自分自身よき人になるよう努力が必要だと思います。

現代社会にはいろいろな情報で溢れています。こんな時代だからこそ自分をしっかりみつめ、日々の生活を送っていきたいと思います。そして、素晴らしい霧を見つけていただきたいと思います。



道元 どうげん、正治2年1月2日(1200年1月19日) - 建長5年8月28日(1253年9月22日))は、鎌倉時代初期の禅僧。日本における曹洞宗の開祖。一般には道元禅師と呼ばれる。徒(いたづら)に見性を追い求めず、坐禅している姿そのものが仏であり、修行の中に悟りがあるという修証一等、只管打坐の禅を伝えた。『正法眼蔵』は、西洋哲学の研究者からも注目を集めた。